

市会発意第2号

コロナ禍による米価下落の影響の改善を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出する。

令和3年12月21日

発議者	福知山市議会議員	吉見 茂久
賛成者	福知山市議会議員	大谷 洋介
〃	〃	紀氏 百合子
〃	〃	野田 勝康
〃	〃	桐村 一彦
〃	〃	森下 賢司
〃	〃	芦田 眞弘
〃	〃	荒川 浩司

福知山市議会議長 高橋正樹 様

(別紙)

コロナ禍による米価下落の影響の改善を求める意見書

主食用米需要の現状は、人口減少や食生活の多様化が進むことで、年々減少傾向にある。さらにコロナ禍に伴う外出自粛などにより外食産業向けの米の販売数量が激減したことなどが影響し、令和3年9月末での全国の民間在庫量は214万トンとなり、適正といわれている180万トン～200万トンを大きく超過している。米価下落の一因に令和2年産米の過剰在庫があり、さらにコロナ禍による今後の需要動向が見通せないことなどから、令和3年10月時点の相対取引価格（60kg当たりの全銘柄平均価格）の出回りからの令和3年産平均価格は、前年産と比べ1,378円の下落となっている。京都府においても銘柄によっては3,056円下落している状況である。

については、国におかれては、今後も米の生産が継続され、水田農業と農村地域が維持されるよう、下記事項について強く要望する。

記

- 1 10月12日に国から示された（仮称）コロナ影響緩和特別対策などにより、米価の下落に歯止めをかけるとともに、令和2年産米に加え、令和3年産米も過剰在庫が生じないように、農業者や集荷・販売業者が行う販売先の確保や新たな販路開拓などに対してさらなる支援を行うこと。
- 2 高収益作物への転換に必要な栽培技術や機械・施設の整備に対してさらなる支援を行うとともに、必要な情報提供を行い、支援制度について周知に努めること。
- 3 米の美味しさや健康増進などの機能性に関する情報発信や和食文化の推進など、米の消費拡大を図るため、より積極的な取り組みを行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月21日

衆議院議長	細 田 博 之 様
参議院議長	山 東 昭 子 様
内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様
財務大臣	鈴 木 俊 一 様
総務大臣	金 子 恭 之 様
農林水産大臣	金 子 原 二 郎 様
内閣官房長官	松 野 博 一 様

福知山市議会議長 高 橋 正 樹